

# グループ案内 Vol.2

2023.11

大里中グループ(中田小・大里西小・大里中)教育目標

**未来の創り手として、豊かに生き  
社会で活躍できる子どもたち**



私たち大里中グループの3校が、未来思考の魅力ある学校づくりを推進するためには、「静岡型小中一貫教育」は有効かつ当然の手段でした。この手段を活用し、「主体性」「協働性」を中心とした資質・能力の育成を目指した、2つ「協働性」「公平・公正の教育の実現」・「大里型PBLの創造」を中心とした研究が、今、実践されています。



**静岡市立大里西小学校**

静岡市駿河区中原 400  
TEL 054-285-9195 FAX 054-288-7630

重点目標：夢中に取り組み、笑顔あふれる子ども



**静岡市立中田小学校**

静岡市駿河区中田 2-14-1  
TEL 054-286-3245 FAX 054-288-7629

重点目標：自分からチャレンジ 仲間とチャレンジ



**静岡市立大里中学校**

静岡市駿河区中野新田 57-1  
TEL 054-285-0185 FAX 054-288-7634

重点目標：夢中を創り 夢を育む 一「主体性」と「協働性」の発掘

## 21項目の子どもの私たちの意識調査から、注目の9項目を紹介！

### 調査①「安心して学校生活を送ることができる」

小学生 91.2% 中学生 89.0%

「公正な教育の実現」を土台に取り組んできた成果と考える。この取組により、「誰もが安心して生活できる環境づくり」が進み、児童生徒に、安心や居場所を与えられたことになった。



子どもたち一人ひとりに「安心」を与えるための大里中グループの取組が「公平・公正な教育の実現」

### 調査②「自分には、よいところがある」

小学生 88.1% 中学生 78.0%

自己肯定感が低下傾向にある現代、安心して居場所のある学校づくりを、第一に考えて取り組んできた。それを土台にし、活躍できる場(大里型PBLの創造など)を設定することで、主体性と協働性が発揮され、自信(よいところ)を持つようになった。

子どもたち一人ひとりの「主体性」と「協働性」が発揮され、「自信」、そして、「自己有用感」を醸成するための大里中グループの取組が「大里型PBLの創造」



### 調査④「人の役に立つ人間になりたい」

小学生 94.6% 中学生 94.7%

非常に高い肯定的な回答結果であった。「公正公平の教育の実現」と「大里型PBLの創造」の取組の相乗効果によって、児童生徒の自信が生まれ、積極的に、関わりを深めるようになった。

【本年度の「大里型PBL」各学年のテーマ】

- 1年生 じどう車のひみつ大発見 〜ずかんをつくらう〜 (大里型PBLの教科学習との連携)
- 2年生 「まちたんけん、大発見」「うごくうごくおもちゃ」
- 3年生 そこ知り発見!静岡の名物を発信しよう
- 4年生 日常生活の「しあわせ」を見つめ直そう!
- 5年生 持続可能な社会にしていこうために、私たちにできることはなんだろう
- 6年生 将来の自分をデザインしよう
- 6・7組 はたらくって何だろう

### 1年生 じどう車のひみつ大発見 〜ずかんをつくらう〜



「大里型PBL」のポイントも国語の授業に活かします。教科書の内容の大体を読んだり、並行読書をしたりしながら、自分が知りたい自動車を選び、追究します。個で作成した「じどう車カード」をグループで紹介し、話し合うことを通して再構成していきます。

### 3年生 そこ知り発見!静岡の名物を発信しよう



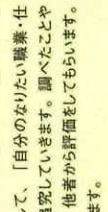
社会科で、大里地域に静岡を代表する食菓の工場があることを学んだ3年生。このよさをもっと知ってほしいという思いをもつて、自己課題を設定し、課題解決に取り組めます。追究の過程で観光局や工場の方などから批評をもらい、静岡の食菓PBL活動を展開します。

### 5年生 持続可能な社会にしていこうために、私たちにできることはなんだろう



はじめに、「富士山」をテーマにした探究を行いました。それらの学びを基にし、SDGsの視点から自己課題を設定し、「メイン・アクティビティ」に取り組みます。レポートを作成し、専門家から批評を受けることで再構成し、環境のために自分ができていることを考えます。

### 6・7組 (特別支援学習) はたらくって何だろう



発達段階に応じた体験や実践を通して、「自分のなりたたい職業・仕事」について、自己課題を設定し、追究していきます。調べたことや創ったものをまとめた中間発表を行い、他者から評価をしてもらいます。改善点を見つけ、探究を深めるようにします。

### 2年生 「まちたんけん、大発見」「うごくうごくおもちゃ」



「まちたんけん」では、学区探検を通して、個別に課題を設定し、中田町の魅力を発見しました。「うごくうごくおもちゃ」では、課題追究の過程で、友達のアドバイスや外部人材の批評を得て再構成をし、1年生が楽しめるおもちゃづくりに挑戦します。

### 4年生 日常生活の「しあわせ」を見つめ直そう!



障がいをもった方々と関わる体験を通して、「福祉 (Well Fare)」を理解し、本当の「豊かさ (Well Being)」を実現するための課題解決に取り組めます。障がいをもつ方や福祉関係者などから助言や批評をもらい、より現実的な解決を探ります。

### 6年生 将来の自分をデザインしよう



「フレ・アクティビティ」では、地域のゲストティーチャーから職業観を聞き、将来の自分について自己課題を設定します。「メイン・アクティビティ」では、自己分析や情報収集、他者からの批評等を通して、「わたしの将来設計図」を再構築し、自分の将来を考えます。



### 調査⑤「総合的な学習の時間 (生活科) は楽しい」

小学生 88.6% 中学生 87.8%

子どもたち自らの課題設定、外部人材の活用、現地に向向いた体験などを通して、自らの課題を様々な手段を使って、追究したり、表現したりすることで、楽しい時間と思えるようになってきた。

### 調査⑥「総合的な学習の時間 (生活科)、自ら進んで取り組んでいる」

小学生 87.7% 中学生 87.0%

自己課題の設定、仲間や先生との対話、中間発表などの他者からの批評などを通して、自分事として取り組もうとする時間になったため、自ら進んで取り組んでいるという思いが生まれました。



「主体性」と「協働性」を発揮する子どもたち②（大里西小）

【本年度の「大里型PBL」各学年のテーマ】

- 1年生 秋の葉や葉を使って、作って、みんなで遊ぼう
- 2年生 うごけ！うごけ！青ぼう おもちゃランド！
- 3年生 静岡市のしまんをかがやかせよう！
- 4年生 だれもが幸せに生きることができている社会を目指して
- 5年生 未来に残そう！私達のふるさと
- 6年生 夢に向かっ
- 7組 (知的学級) 働く人になろう！ / (自閉・情緒学級) 各学年と同テーマ

1年生 秋の葉や葉を使って、作って、みんなで遊ぼう



秋の葉や葉を使っておもちゃ作りを行い、遊び方やルールを考え、楽しく活動します。「秋のおもちゃ屋さん」を開き、「どうすればお客さんに喜んでもらえるか?」など、問いをつくる場面を設定して活動していきます。

3年生 静岡のしまんをかがやかせよう！



「ブレ・アクティビティ」では、見学や講話から「静岡市のしまん」を見つけます。「メイン・アクティビティ」では、自分が選んだ「静岡市のしまんNo.1」を輝かせるために自分ができることを考え、表現していきます。

5年生 未来に残そう！私達のふるさと



「ブレ・アクティビティ」では、静岡市で起こっている問題から環境問題についての意識を高めます。「メイン・アクティビティ」では、自分が解決したい環境問題について、自分たちができることを考え、検討し、実行していきます。

7組 (知的学級) 働く人になろう！



作業学習で「メモ帳作り」に取り組んでいます。出来上がったメモ帳を、お店で売っているような、みんなが欲しいがメモ帳にするにはどうしたらいいかを考えています。個々に改善点を設定して、素敵なメモ帳を完成させるため、それぞれの方法で取り組んでいます。

調査⑦ 「総合的な学習の時間（生活科）」は 仲間力を借りながら取り組んでいる

小学生 88.1% 中学生 91.2%

「協働性」を育むための対話活動、グループワークやポスターセッションなど、他との関わりを意識できる活動を設定した。

調査⑧ 「クロムブックを有効活用して、学習に取り組んでいる」

小学生 96.0% 中学生 91.8%

クロムブックの活用について、教師が「主体性」と「協働性」を発揮させるための有効な手段であると認識し、授業の中で積極的に活用した。

「主体性」と「協働性」を発揮する子どもたち③（大里中）

【本年度の「大里型PBL」各学年のテーマ】

- 1年生 より豊かな生活を目指して
- 2年生 魅力ある町づくりプロジェクト 第一部 めざせニューリズム
- 3年生 ファイナル・ファンタジー ～中学3年間の想いを表現しよう～
- 8・9組 はたらく人になろう！

1年生

自分にとっての、みんなにとっての豊かな生活について考える

「ブレ・アクティビティ」では、「健康」、「環境」、「安全」、「人との関わり」というテーマの中から、自分に合ったテーマを選びます。知識や情報を集める過程を経て、生徒自身がより豊かに生活するために、自分に何ができるかなどの課題を設定します。

「メイン・アクティビティ」では、課題を追究する中で、生徒一人ひとりが考えた課題に対する解決策を立てます。また、解決策を仲間と共有し、自らの生活の中で行動しようとする姿に期待します。



2年生

観光都市京都から地域の魅力を活かした町作りを学ぶ

「プロジェクトDOO」[京都の魅力を探せ]をテーマとして、京都の魅力を追究していきます。「ブレ・アクティビティ」では、「京都ならではの」魅力をインプットした後、京都の魅力と、自分自身と「好き」や「得意」を掛け合わせ、生徒自身が課題（モデルコースのコンセプト）を設定します。

「メイン・アクティビティ」では、魅力あるオリジナル観光モデルコース案を創造・提案します。専門家への提案後、自分の案を、どのように再構築させるかに期待します。



3年生

卒業直前の「想い」を大切に、卒業までに、自分たちの力でできることを考える

「ブレ・アクティビティ」では、中学校3年間、義務教育9年間の集大成としてのあるべき「姿」、そして、あるべき「想い」について、まずは、自分自身が考え、次に、仲間との語り合うことを通して、課題（卒業までに、「やりたいこと」「できること」）を設定します。

「メイン・アクティビティ」では、大切な想いも、どう表現するかを模索しながらも、具体的な形に換えていきます。最上級生の発想力、行動力に期待します。



8組 (知的学級)・9組 (自閉・情緒学級)

充実した体験学習を通して、「はたらく人」としての技能と意欲を育てる

「ブレ・アクティビティ」では、事前学習を含めた職場体験から、自分自身や仲間が抱いた感想や意見を語り合ったり、仲間とわかるように発表し合ったりを通して、課題「仕事を続ける上で、大切なことは何なのか（意欲・スキル）」をみんなで設定します。「メイン・アクティビティ」では、みんなで設定した課題を、どのように実現するかを各自が考え、実践の中で表現していきます。仕事に対する技能や意欲の向上を期待します。8組は技能の習得、9組は意欲の向上を中心に活動します。



調査⑨ 「学校で自分らしく学んだり、生活したりすることができる」

小学生 91.9% 中学生 91.0%

研修等を通して、教師が、個別最適な学びや、子どもたちへの適切な関わりを強く意識するようになり、児童生徒の個々の「特性」や「違い」について、理解した支援をするようになったことが、結果につながった。

9の項目を中心に、多くの項目について、良好な結果が出ており、小中の連携の下、研究実践を進めてきた成果である。その一方で、「自分で計画的に勉強している」「将来の夢や目標をもっている」と回答する児童生徒が、全国平均と比べて、低くが気になる。この2つの項目は、大里中グループの教育目標との関わりは強い。  
今後も「グループ教育目標」や「グループの教育目標」に立ち戻りながら、静岡型小中一貫教育を手段に、研究を推進していく。

1 調査結果の考察と課題